

## 令和4年度 ふるさとのづくり支援事業

市町村名	新潟県阿賀町	
事業名	新潟県阿賀町産ユキツバキ由来の精油資源活用商品開発事業	
企業等概要	企業等の名称	株式会社巴山組
	代表者氏名	代表取締役社長 猪俣 茂
	所在地	新潟県東蒲原郡阿賀町九島 1270
	連絡先	0254-95-2316
	URL	<a href="https://tomoyamagumi.com/">https://tomoyamagumi.com/</a>

令和6年3月現在

### 【事業者概要】

- ・昭和17年創業。  
土木・建築工事の設計、施工及び施工管理を主な業務とする。

### 【事業概要】

#### ◇背景・経緯

- ・過疎化が進み、活力が減っていく同町の未来を憂い、地元の物（ユキツバキ）を使った特産品を作ることによって地域振興に貢献したいという強い思いから、平成23年に一念発起し、ノウハウの無い分野でありながらも試行錯誤しながら当商品を開発するに至った。
- ・町のバックアップを受けつつ、新潟大学と連携して商品開発を行っており、産官学連携で取り組んでいる。

#### ◇開発概要

- ・種からオイルを抽出する際、加熱しながら加圧する方法が最も多くのオイルを抽出できるため、一般的であるが、加熱による化学変化（有効成分への悪影響）を避けるため、加圧のみによる抽出を行っている（量よりも質を重視）。
- ・200gの種（両手一杯分程度）から抽出可能なオイルは12cc程度であり、年間では1.2ℓ程度しか精製できず、すべてを純粋なオイルとして販売してしまうと販売可能な商品数が限られることや、より身近な商品を作りたいとの思いから、加工商品である「ヘアオイル」及び「リップクリーム」を新開発した。
- ・ユキツバキは暑さに弱く、また、冬においても降雪が少なく、風にさらされると枯れてしまうなど非常に繊細であり、その性質はまだ解明できていないことが多いため、現在新潟大学と研究を続けている。

### 【成果】

#### ◇地域性・特徴

- ・観光施設等での雪椿製品の販売により、地域固有の観光資源で、シンボルである「雪椿」がPRでき、メディアでも取り上げられることにより、町内での「雪椿」ブランドの向上に貢献できた。



ユキツバキの種子



オイル精製の様子



商品

#### ◇商品化・販売先

- ・当初、「阿賀町でしか買えない」ことをコンセプトとし、地元の温泉等でしか販売を行っていなかったが、「商品を通じて阿賀町を知ってもらおう」事に軸足を移し、新潟市の伊勢丹やインターネット等でも販売を開始した（令和元年度～）。
- ・今後は、オーガニック商品を中心に扱う東京のセレクトショップ等において広く販売箇所を拡大させていきたいと考えている。

#### 【今後の展望】

- ・更なる量産化に向け、耕作放棄地を活用した植樹に取り組んでいる。  
(山に自生するユキツバキの種からはあまりオイルは抽出できないが、畑に植えた木からは多くのオイルが抽出できるとのこと。)